



# 喜多の盆

夏祭

今年も大阪に夏祭りの季節がやってきました。夏祭りは農村部ではあまり見られず、都市部特有のお祭りといわれています。昔は人の集まる市街地ではこの時期、爆発的に疫病が流行した事から、疫病を流行させる鬼を神さんの御力で払って頂くという、疫病退散が夏祭りの本来の目的でした。しかし、疫病退散を祈って始められたお祭りも、時代を経るに従って歴史や文化を育み、人を育てる上で目に見えない多くの教えを今に伝えて来ましたが。京都祇園祭などはその最たる例でしょう。ですが、最近**は神さんそっちの**けでイベントとしてお祭りをするところが増えていきます。本来の趣旨を忘れ、歴史文化を育まず、人を育てる教えを持たないお祭りに、どれだけの意味があるのか疑問符を投げかける思いです。

## 七月の大阪市内の主要夏祭り一覧

- 一日 愛染祭〓 大阪愛染堂（勝鬘院）
- 七日 星愛七夕祭〓 大阪天満宮
- 一二日 夏祭〓 生國魂神社（天王寺区）
- 一三日 夏祭〓 難波八坂神社（中央区）
- 一五日 例祭〓 網敷天神社（神事のみ）  
夏祭〓 豊崎宮（北区）
- 一六日 例祭〓 玉造稻荷神社（中央区）
- 一七日 例祭〓 露天神社（お初天神）
- 一八日 例祭〓 高津宮（中央区）  
例祭〓 八坂神社（北区海老江）  
例祭〓 八坂神社（北区大淀）  
夏祭〓 長柄八幡宮（北区）
- 二二日 例祭〓 桜宮（都島区）
- 二二日 坐磨祭〓 坐磨神社（中央区）
- 二五二日 天神祭（本宮）〓 大阪天満宮
- 三二日 住吉祭〓 住吉大社（住吉区）

日程変更のあるところもありますので、詳細は各神社にお問い合わせ下さい。

## お祭りの神社参詣作法

まず、手水をしてから社殿へ行きます。鈴を鳴らして二礼二拍手一礼します。その後はお祭りを楽しみましょう。

## 藪入り（やぶいり）

今では殆ど聞くこともない言葉ですが、戦前生まれの方であればご存知の方も多いと思います。この言葉は毎年七月十六日には奉公人が実家に帰る事を許された日で、奉公人の休日といえる日です。ちょうどこの時期は盆の時期ですので、やはり盆の行事ぐらいは家族全員で参加すべきであり、奉公に出ていた者も故郷に帰らせたいという心遣いでしょう。この藪入りの語源は**藪深い田舎に帰る事**からついたという説がもっぱらですが、父や家族を養う為に帰るのだから、「養父入り（やぶいり）」が本来の意味であるともいわれます。

ちなみに、この梅田にも明治頃まで、「**牛の藪入り**」という名の行事がありました。これは田植えて忙しくなる前の**五月初旬頃**に行われたそうですが、農耕に働く牛に綺麗な飾りをつけて、一日中、放牧したそうです。今は藪とは何の縁もない梅田に、ほんの百年前まで牛が放牧できるほど、**のどかな時代**があったようです。日々忙しく休む間も無い方々も、七月十六日は**家族とのんびり**過ごされてみては如何でしょうか。

## 当神社携帯サイトのQRコード



ドコモ、ボーダフォン  
対応確認済み。

編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

